「阪神5大学サステナブルがん人材養成プラン」
第5回プロジェクト運営推進委員会　議事要旨

日時　：　令和7年6月25日（水）17時30分　～　18時27分
場所　：　Zoom　オンライン　（会議主管　：　神戸大学医学部）
出席者（敬称略）：

近畿大学	医学部	林、門前、土井、高濱、吉田、谷﨑、伊藤、小山 猪川、小森、森口、宮口、清水、土井（教）、河村、中松、 土井（生）、西上、大目、辻井
近畿大学	理工学部	福嶋、西郷（医学部兼務）、木下、仲間、山田（英）
近畿大学	情報学部	半田、木村、宮内
大阪公立大学	医学部	川口、渡邉、金田、藤田
大阪公立大学	看護学部	田中（京）、林田、徳岡、田中（誠）
神戸大学	医学部保健学科	副島、山田（昌）
関西医科大学	医学部	伊藤（量）、清水、加藤
兵庫医科大学	医学部	木島、栗林、児玉、島田
神戸大学	医学部	南、金原、浅野、中邊

以上　49名

委員会の開始に際して、南先生から挨拶があった。

1. がんプロ拠点校報告（近畿大学医学部　林秀敏先生）【資料1】
林先生から資料に基づき以下の報告があった。
＜令和6年度活動成果評価委員会＞
・2月28日に活動成果評価委員会を実施し、外部評価委員は7名が参加した。入学者の実績や関連論文数、セミナー活動数などが評価され、地域連携の取り組みやモチベーション、R1核医学の専門家不足、入学者の充足率の提示などが課題として指摘された。
＜がん研究シンポジウム＞
・2月1日にオービックホールで開催し、146名が参加した。教育講演、大学院生による発表が行われ、阪神5大学拠点からは75名が参加した。令和7年度は令和8年2月7日に開催予定で、現在演題を募集しており、課題として病院薬剤師育成、核医学教育、AIなどが挙げられた。
＜全国がんプロ教育フォーラム＞
・令和7年度全国がんプロ教育フォーラムを阪神5大学で行うことが決定し、令和8年3月に予定している。

南先生から、評価委員の松浦先生の指摘について、地域にどれだけの人を派遣できているか、1期からの分も含めて各大学で調査し、数字をまとめることが提案され、林先生は、全国がんプロ協議会のテーマとして、アンケートによって全国のがんプロ調査を出す予定であると回答した。

南先生は、病理医の育成について大学院生が不足している現状を述べ、他の大学の状況について質問した。

2. 各 TF 報告【資料 2-1～2-3】

各 TF の取り組み状況について、担当校から資料に基づき以下の通り報告があった。

＜TF1　医療現場＞（近畿大学医学部　高濱先生）

・SP／CS 演習について、SP 演習は 8 月 30 日に、CS 演習は 7 月 26 日に実施予定である。
・TF1 の課題、正規コース、インテンシブコースは資料の通り。
・TF 1 の進捗について、緩和ケア医やその専門看護師、放射線治療医や病理診断医などの育成、学際領域との連携などが進められている。ゲノム医療のハンズオンセミナーや地域でのセミナーなどを企画している。

＜TF2　予防医療＞（大阪公立大学医学部　川口先生）

・がん予防医療国際シンポジウムと医療ビッグデータを用いたワークショップの開催を予定しており、次世代のがんプロフェッショナル養成セミナーを令和 8 年 1 月 23 日に開催予定である。

＜TF3　研究開発＞（神戸大学医学部医学科　南先生）

・TF3 の課題、正規コース、インテンシブコース、各大学のレクチャーやセミナーの計画等は資料の通り。
・7 月 10 日に TF3 委員会を開催し、シンポジウムのテーマを選定する。

林先生から、大阪公立大学医学部の CAR-T の勉強会について、今回のがんプロで強調されている部分なので取組を教えてほしい、また T 細胞リンパ腫についての企画も求めていると意見が述べられた。

3. 各大学・学部の活動状況について【資料 3-①～3-⑨】

各大学・学部の取り組み状況について、資料に基づき以下の通り報告があった。

＜関西医科大学医学部＞（伊藤先生）

・今年度、地域がん医療課題克服型腫瘍学のコースに 2 名、特定集団特化型がん緩和医療のコースに 2 名が入学した。
・5 月 20 日にセミナーを開催し 20 名の参加があった。7 月 8 日、8 月 28 日、12 月 16 日にもセミナーや講演などを行う予定である。

＜近畿大学医学部＞（高濱先生）

・学部におけるがんプロの体制は資料の通りである。毎週水曜日に 1 時間ほど定例ミーティングを開催している。

・がんプロ大学院生は今年度に 6 名が入学した。分子腫瘍病理学コースに初めて 1 名入学があった。

＜近畿大学理工学部＞（西郷先生）
・遺伝カウンセラー養成課程に 3 名が入学した。
・昨年度は、遺伝カウンセラーの認定試験に 1 名、遺伝性腫瘍専門医に 1 名が合格した。
・インテンシブコースは現在 12 名が参加している。

南先生からインテンシブコースの受講者について、医師がいるか質問があった。昨年度は参加していたが今年度は今のところ参加がないので、各施設でアナウンスしてほしいと回答した。

＜近畿大学情報学部＞（半田先生）
・情報学研究科の届け出が文科省へ受理され、学生の募集を開始した。
・7 月 2 日に、台湾の工学系の先生に来てもらって、がんと AI セミナーを開催する予定である。

＜大阪公立大学看護学部＞（林田先生）
・がんとの共生を支えるがん看護専門看護師教育プログラムコースに 3 名が入学した。
・インテンシブコースのうち、インテンシブ A には 2 名、インテンシブ B には 3 名が登録している。
・10 月 4 日にがん看護講演会を AP 大阪梅田東で開催予定。

＜神戸大学医学部＞（南先生）
・資料に沿って説明があり、正規コースでは修士課程の 1 名のみの入学で、来年度については次世代小児がん個別化治療育成コースに 1 名入学予定である。インテンシブコースは例年通りの人数で推移しており、今後増加するものと考えている。

林先生から、腫瘍循環器のインテンシブコースの参加者について質問があった。循環器の先生で、病院で働いている先生を想定しているが、確認は取れていないと回答があった。

＜神戸大学医学部保健学科＞（副島先生）
・がんプロフェッショナル（がん看護）養成コースに 1 名が入学した。
・昨年度は 2 月に、がんの在宅医療に関するシンポジウムを開催し、看護師を中心に 60 名ほど参加があった。令和 8 年 2 月にも、「がんサバイバーシップに関する医療者向けのシンポジウム」を開催予定。

＜兵庫医科大学医学部＞（木島先生）
・大学院コースに 3 名が入学し、がん免疫療法・ゲノム医療の実践・応用・新規開発のできるプロフェッショナルな多職種医療人および研究者養成コースの在籍者数が多い。
・令和 7 年 10 月にがんサバイバーケアに関するセミナー、11 月から 12 月にゲノム関連の講演会と、がんプロセミナー3 回の実施を予定している。

＜大阪公立大学医学部＞（金田先生）
・大学院生は今年度に 5 名が入学した。
・MedCity21 医学講座を 9 月から年 5 回で配信予定。
・令和 7 年 5 月 26 日に「Cancer Supportive Care Seminar～緩和ケア～」を開催した。
・7 月 31 日に「CAR-T Clinical Conference」、9 月 8 日に「Cancer Supportive Care Seminar～不眠症～」、10 月 31 日に「第 2 回大阪腫瘍病理セミナー」を実施予定。

林先生より、予防医学の大学院コースに入学者が得られないので、インテンシブコースなどが作れないのかと質問があり、インテンシブコースについては事業推進委員会で検討したいと思うと回答があった。南先生から、予防医療に関してはゲノムが盛んにおこなわれており、遺伝性腫瘍の可能性が指摘された場合の予防医療などは普段の診療をインテンシブコースに持ち込む形で教育活動の一環にしていくことについて提案があった。

4. その他
＜第６回プロジェクト運営推進委員会＞
・兵庫医科大学が主管校となり、第 3 回プロジェクト統括会議（主管校：近畿大学医学部）と共に、12 月 25 日に開催する。
＜第７回プロジェクト運営推進委員会＞
・近畿大学理工学部が主管校。

林先生から下記の連絡及び要請があった。
・来年度以降、補助額が減ることが想定される。
・中間報告に向けて各大学が意識して活動すること。

以上